

ふたご座

ふたご座は「黄道12星座」の一つで、おうし座と、かに座の間にあります。ふたご座の代表的な明るい天体がカストルとポルクスです。「となり同士のふたつの星」は夜空にたくさんありますが、カストルとポルクスにはかきません。双子が寄り添って見える星座です。

神話では、大神ゼウスと美女レダの間に生まれた双子とされています。二人はいつも連れ立って行動しました。兄のカストルは乗馬の名手、弟ポルクスは拳闘（ボクシング）の名手となりました。兄のカストルは母親レダと同じ人間としての性質をもち、いつかは死ぬ運命にありました。一方、弟のポルクスは父親ゼウスの神の性質を受け継ぎ、不死でした。ポルクスは自分のもっている不死の性質を兄に分けるよう父に頼みます。その結果、1年の半分は天界に、もう半分は地下（冥界）で共に過ごすようになったとされています。まさに双子の兄弟愛ですね。

カストルとポルクス

恒星としてのα星カストルの実視等級は1.58で、四捨五入方式では「2等星」の仲間になり、β星ポルクスは1.14で「1等星」の仲間になります。日本では、青白いカストルは銀星（ぎんぼし）、オレンジ色のポルクスは金星（きんぼし）とも呼ばれていました。実はカストルは連星です。望遠鏡で見ると2つの星が寄り添っているのが分かります。実際には6重連星で、6つの星が宇宙空間で互いに共通の重心でまわり合っています。



今月の見どころ星どころ

カノープス



文・浜松市天文台
喜澤 俊輔



「カノープス」はりょうこつ座のα星で、おおいて座のシリウスに次いで明るい恒星です。しかし、日本では地平線近くでしか見られないため、大気によって減光され、オレンジ色の暗い星しか見えません。緯度の高い福島県以北だと見ることが難しい星です。

昔から、ほとんどお目にかかれないこの星を見ることができると、縁起がいいとされてきました。中国では、この星を「南極老人星」と呼んで、見ることができれば長寿になるといふ言い伝えが残っています。地平線が見えているような開けた場所で南の空にカノープスを探してみてください。シリウスからこぼし3つ半分、南に下がったところがあるので、シリウスが真南に来る時刻の少し前が見つけられるチャンスです。



星空クイズ

全天には88の星座があります。2世紀ごろにプトレマイオスが決めた48星座が今の星座の原型になっています。15世紀の大航海時代になると、ヨーロッパからは見えなかった南半球の星が星座の対象になり、新しい星座がつけられました。近代になり、天文学が発展してさらに星座は増えていきました。そこで、国際天文学連合が1922年に星座を88個に定め、1928年に境界線が採択されました。

では、その88の星座のうち「や座」のように日本語表記で1文字の星座はいくつあるでしょうか。

- A 1つ
- B 2つ
- C 3つ

答えは中面へ

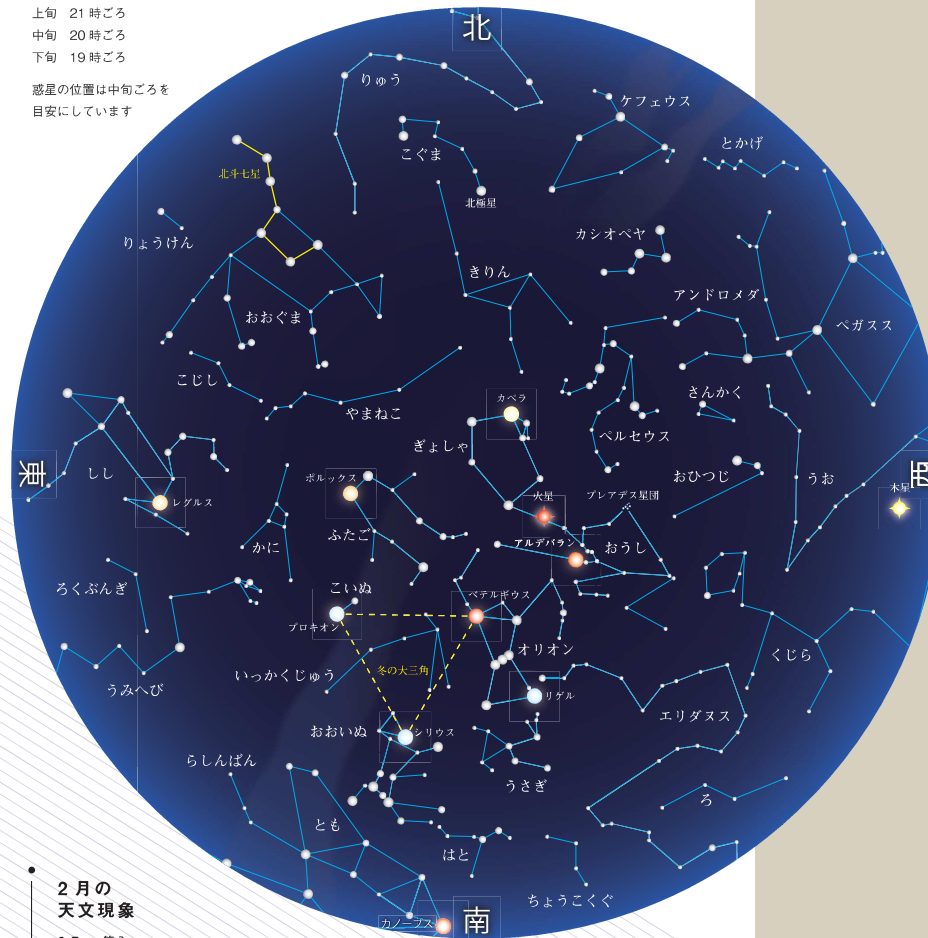
星空案内

浜松市天文台と浜松科学館がお届けする今月の星空情報

2023年2月

- 上旬 21時ごろ
- 中旬 20時ごろ
- 下旬 19時ごろ

惑星の位置は中旬ごろを目安にしています



2月の天文現象

- 3日 節分
- 4日 【立春】太陽黄経 315°
- 6日 満月
- 14日 下弦
- 19日 【雨水】太陽黄経 330°
- 20日 新月
- 27日 上弦

4日は立春です。暦の上では「春」です、という言葉は聞いたたびに、「今が一番寒いだけだな。」と独り言が出てしまいます。しかし、寒い冬の夜空には1等星が8つもあります。色とりどりの星たちの輝きはこの時期だからこそ味わえるものです。あたたかな服装で、冬の星空を楽しみませんか。



上の星図は、空にかざして実際の方向と合わせてご覧ください。



1 浜松市天文台

催しはすべて事前予約制となります。浜松市天文台ウェブサイトよりお申し込みください。

詳細・お申し込みは浜松市天文台ウェブサイトをご覧ください。
新型コロナウイルス感染防止のため、人数制限を行っております。各イベントは事情により中止になる可能性もございます。天文台ウェブサイトまたは Facebook で随時お知らせいたします。

ウェブサイトはこちら



イベント情報

※参加費は全て無料です

2/4・18・25
土

星空観望会

宇宙へのおびら in はままつ

季節の星座、星雲・星団、月、惑星などを観望。星座の配置や結び方などを解説します。

- 時間 18:30～20:30
- 会場 天文台屋上階
- 申し込み 開催3日前の13時から受付(30分ごと先着10組)



2/12・26
日
2/24
金

親子天文教室

小学生親子向けの天文教室です。お話と観望がセットになっています。

- 時間 【第1部】18:30～19:30 【第2部】19:30～20:30
※第1部、第2部ともに内容は同じです
- 会場 2F 講座室
- 申し込み 【2/12】2/8(水)13時から受付(各部先着5組)
【2/24、26】2/22(水)13時から受付(各部先着5組)



2/5
日

太陽・昼間の星 観望会

黒点、プロミネンスなど太陽が活動する様子や、昼間に見える天体を観望します。

- 時間 14:00～16:00
- 会場 天文台屋上階
- 申し込み 2/1(水)13時から受付(30分ごと先着10組)



裏面のクイズの答え：C(ほ座、や座、ろ座)

2/18
日

天文ミニ講座

星座と当夜の見どころについて、星のソムリエがやさしくお話いたします。

- 時間 17:30～18:20
- 会場 2F 講座室
- 申し込み 2/15(水)13時から受付(30分ごと先着10組)



天候不具合

2 浜松科学館

プラネタリウム番組情報

解説員が星空をライブ解説する「生解説プラネタリウム」と臨場感ある「大型映像」をお楽しみいただけます。

blog



夜空に隠れたうさぎ

生解説プラネタリウム
夜空に隠れたうさぎ

2023年はうさぎ年。夜空にある「うさぎ座」について解説します。

14:30～15:25
土日祝は11:40～12:35も放映

水の惑星

大型映像
水の惑星

いのちあふれる海。裏面地球から星空を望み、星の世界に水を探そう。

15:50～16:35
土日祝は13:15～14:00も上映

こんやのお星さまとおたんじょうびの星座

キッズプラネタリウム
こんやのお星さまとおたんじょうびの星座

土日祝・長期休暇期間のみ
10:30～11:10

高校生以上限定
夜の科学館 特別放映
「STAR FLIGHT season II」
2月は「ニューカレドニア編」

STAR FLIGHT season II

2/17
17:50～18:50

宇宙から愛を込めて

2月14日はバレンタインデーですね。恋人たちの日だとされています。愛情を表す象徴として「ハートマーク」が使われることが多くあると思いますが、宇宙にも様々なハートマークがありますので、ご紹介します。

まずは、火星のハートマーク。NASA(アメリカ航空宇宙局)の火星探査機マーズ・グローバル・サーベイヤーが撮影しました。盛り上がっているようにみえるかもしれませんが、この“ハート”は、くぼんでいます。ハート形のくぼみの幅は最大 2.3km ほどあります。続いて、冥王星のハートマーク。NASAのニューホライズンズという探査機が撮影しました。冥王星は 2006 年に分類上、太陽系の惑星ではなくなりましたが、無くなったわけではありません。

この“ハート”のエリアは、冥王星の発見者であるクライド・トンボーにちなみ「トンボー地域」と呼ばれています。主に氷の平原だと考えられています。



火星のハートマーク



冥王星のハートマーク

column

最後に太陽系の外にあるハートマークをご紹介します。カシオペア座とペルセウス座の境界付近で輝く IC1805 は、その形から「ハート星雲 (Heart Nebula)」と呼ばれています。赤い星雲が少し歪んだハート型をしているのがわかります。地球からこの星雲まで、約 7,500 光年離れていると考えられています。ハート星雲は H α 光という波長で輝いているため、残念ながら、肉眼ではほとんど見ることはできません。さまざまな色の光を放出しているガスからなる天体です。

星雲は一期一会。二度と同じ星雲には出会えません。大切な人と一緒に星を眺めて、思い出を作ってみてはいかがでしょうか？

(文・浜松科学館 天文チーム)

IC1805 (ハート星雲)



第41回 ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展

本年もたくさんの応募がありました。特別賞と入選の作品を展示しています。子供たちの豊かな思いが表現された力作ばかりです。ぜひご覧ください。

2月3日(金)～3月10日(金)

時間：【火・水・木】9:00～17:30
【金・土・日】13:00～21:00

※月曜・祝日は休台日

会場：浜松市天文台ホール(五島協働センター3F)

